

奥野食品 株式会社 (三重県松阪市)

創業昭和25年。ずっと納豆を作り続けてこられた老舗の奥野食品様は、安心して食べられるおいしい納豆づくりに、いち早く取り組んでこられました。そんな中で新しい納豆に出会われたのです。

その原動力は水。水を変えたことで、より素晴らしい納豆が完成しました。

納豆づくりの歴史とこだわりの中で導入されたFFCテクノロジー。そこからの発見と今後の取り組みについて伺いました。



設置場所



平成8年5月、屋外の3tタンクにFFCセラミックスを2kg導入していただきました

工場内の水は全て、タンクでFFC処理されたものを使っています。タンク内には1~2ヶ月に1回、バイロゲンの900mlを1本投入しています。

工場内にFFCの蒸気が広がります！

設置後の変化

①品質の向上

大豆の味がしっかりとする納豆ができるようになりました。

◎今までの納豆とFFCを活用した納豆を30人が目隠しで食べ比べ。全員がFFCの方がおいしいと答えピックリ！



②工場内環境の改善

大豆を蒸す時、FFCの蒸気が工場内に充満することで匂いも穏やかな、とても爽やかな工場になりました。

③鮮度保持力の向上

FFCテクノロジーを導入してから、納豆の鮮度保持力が高まりました。



私とFFC

奥野食品様とFFCの出会いは、奥野専務が納豆の研究をされていた大学時代に、本で知られたのがきっかけでした。

納豆の原材料は大豆と納豆菌と水。大豆にこだわり、国産大豆、無農薬大豆を使用、遺伝子組換え大豆は使わない、などいち早く取り組んでこられました。そして、水にもこだわれば更に良い商品が作れるのではないかと考えたそうです。

奥野敦哉 専務



「最初は、おいしい水を使えばおいしい納豆ができるんじゃないか」ということと、日持ちする納豆が作れれば・・・との思いからFFCの導入を考えました。ところが、できあがった納豆を見て味わい、またお客様の評判を聞いてみると、どうも納豆菌の働きが穏やかでかつ正常になったのではないか?自分が研究し思い描いてきた納豆らしい納豆ができるようになったのではないか?と感じるようにになったのです」と奥野専務。

現在もFFCを活用して栽培された黒大豆を取り入れるなど奥野専務の新しい納豆づくりへの挑戦はまだまだ続きます。

奥野様にはカトレア会本社研修会でも毎回、納豆をご提供いただいております。400名近くの方が一齊に食事をされますが、それでも匂いは残っていません。

煮沸殺菌したFFCの水に納豆菌を入れることで、納豆菌が活発に動きやすい環境ができあがっているようです。

水を変えることで、様々な新しい商品価値が生まれることを今後も期待したいと思います。

取材：里見



奥野食品では

納豆にもっと親しみを持っていただきため工場見学・納豆づくり体験などの参加も受け付けています！

また、全国各地の安心で安全なおいしい大豆を利用した納豆づくりを考えています！そんな大豆があればどしどし情報をお寄せください。

商品に関するお問い合わせは『FFCテクノロジー活用ガイド』をご覧ください。

FFCテクノロジー活用現場の報告番組「FFC WATER WORLD」で「発酵食品に新境地（奥野食品様）」が放映されました。

【スカイパーエクTV 216ch】
放送日：H15年2月8日(土)・9日(日)
再放送：H15年3月8日(土)・9日(日)

放送内容はビデオ販売されています！

詳細はエフエフシー・ジャパンまたは代理店まで

からの問い合わせや引き合いについては、カトレア会の方々からのご紹介も多くありますが、ご説明しづらい分野だけに、ほとんどのケースが当事者の方々と直接のコミュニケーションを取らせていただいている。

お伝えください際のポイントは、

- ①現状をそのままに、どこかにFFCテクノロジーをプラスする
- ②どのような成果を得たいのか、それがFFCで可能なのかを明確にしておく
- ③どのように世の中のお役に立たれたいのかを明確にする
- ④先ず当事者(トップから)がバイロゲンを飲まれてFFCを体感していること
- ⑤何故なぜ?との興味をもつより、良い結果をどうすれば得られるか「テストすること」に熱意をもっていただく
- ⑥情報量は「ビデオに勝るものはない」との認識でどんどん配布する

21世紀型産業はすべてにプラスの効果が出て、人も地球も蘇ることが何よりも重要であることを認識してください。

FFCテクノロジー インフォメーション



株式会社エフエフシー・ジャパン
常務取締役 吉川 潔

先般来、大型活水器・FFCセラミックスシステムのレンタルなどを活用し、経営や環境の改善に取り組みたいとの、中堅企業や中小自治体からの引き合いが急増しています。

地域振興のためにつくられた第三セクターからの問い合わせ～引き合いも急上昇しています。

「FFC WATER WORLD」が少しずつ拡がりそれらの方々の手許に届いたことも、大いに関係があると感じています。

エフエフシー・ジャパン関係の事業所、事業者